

コンサルタントの現場から

第86回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

工場は最大のセールスマン

足場を固め地道な改善活動が利益を支える

タイの経済環境は、決して良いと言えない状況にはない。弊社のご支援先も計画や前年実績より売上が下回っているところが多い。しかし、そのような中で利益については計画や前年を上回る見通しというところもある。それらの企業に共通して言えることは、しっかりと足場を固め、地道に改善取り

組みを積み重ねている企業ということだ。すばらしい工場という評価から受注が拡大

とところで、ある在タイ企業をご支援させていただいているコンサルタントから、ご支援先でこんな話があったと報告を受けた。それは、その企業が取引先である大手メーカーの監査を受けたのだが、その結

果が極めて良く、他のサプライヤーに発注されていたものが、このご支援先に発注変更され、大きく売上が伸びることになったという話だ。さらに、別の業界の大手企業から、全サプライヤーの中で優秀賞を受賞したとのこと。

弊社のコンサルタントの指導を受けて現場改革に取り組んできたメンバーは、大変な喜びで、訪問するや否や、このことを報告してくれたのだ。

これは、正に、工場そのものがセールスマンの役割を果たしてくれたことにならない。筆者も、ご支援の際に、「工場は最大のセールスマン」という話をさせていた。訪問した側からす

ると、工場を一目見るだけで、この工場は、良い品質を確保できるか、また、生産性は高いかはわかる。今の生産に無関係な物が一切なく、物の置き方一つも、本当に取りやすく、すぐにわかる置き方になっているような現場であれば、品質は良いに決まっている。また、清掃が行き届いている工場であれば、単にきれいというだけではなく、設備等の予防保全も間違いなくできている。

すなわち、この工場なら、品質も安心でき、また、生産性も高くコスト競争力もあるということ現場が示しているということだ。生産性が高く良い品質のものを作り込めるか否かは、説明を受けなくても現場が語るといふことであり、どんな説明より、現場を見てもらうことが、一番説得力があるのだ。

工場を進化させ続ける。そういう意味で、いつでも現場を見ていただく、また、常に現場を進化させ続けることで、また、見せてもらいたいという現場にし続ける

ことが大切ということだ。すなわち、工場のファンになってもらえるようにすることが大切なのだ。

そうなる、次の新たな新製品を開発する時も、お客様から、これは是非あの工場で作ってもらいたいと真っ先にお客様から声がかかることになる。

ところで、日頃から現場の皆さんはどれだけお客様を意識しているだろうか。いつもお客様に見られている、もしくは、いつ見られるかわからないと思うと、こんなことをしてはいけないう意識もするし、また、戻すべきところに戻す、余分に置かない、等のルールも必ず守るようになる。いつも、お客様に見られているという意識を持つことで、工場は随分と変わっていくことだ。

常に、お客様を意識した現場にする。そして、是非、見せてもらいたいと言っていただけの工場にする。全員がこれを意識できると強い工場にすることが出来るのだ。

どの工場でも「見える化」を推進している。異常が見える、進捗が見える、というように、問題が見えることで改善は進むので、「見える化」は極めて重要だ。と

ころで「見える化」ができれば、次は、お客様視点で「見える化」を推進することも意味がある。それは、自社ならではの特徴あるものづくりを築ききかけになるからだ。他社には真似のできないものづくりや工法というように、見せるということを意識すること、自慢できるものづくりの実現に向けた取り組みが進む。弊社のコンサルタントは、よく、「工場はショールーム」といふ言い方をしている。工場はセールスマンという以上、常にものづくりの新製品もそこにはあるということだ。

進化させ続けることで、お客様から指名され、事業を拡大させることができる。今一度、お客様を意識し、セールスマンとしての工場、ショールームとしての工場はどうないか、考えてみてはどうだろうか。

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉 (たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営 常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経 BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMC(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

果が極めて良く、他のサプライヤーに発注されていたものが、このご支援先に発注変更され、大きく売上が伸びることになったという話だ。さらに、別の業界の大手企業から、全サプライヤーの中で優秀賞を受賞したとのこと。

弊社のコンサルタントの指導を受けて現場改革に取り組んできたメンバーは、大変な喜びで、訪問するや否や、このことを報告してくれたのだ。

これは、正に、工場そのものがセールスマンの役割を果たしてくれたことにならない。筆者も、ご支援の際に、「工場は最大のセールスマン」という話をさせていた。訪問した側からす

ると、工場を一目見るだけで、この工場は、良い品質を確保できるか、また、生産性は高いかはわかる。今の生産に無関係な物が一切なく、物の置き方一つも、本当に取りやすく、すぐにわかる置き方になっているような現場であれば、品質は良いに決まっている。また、清掃が行き届いている工場であれば、単にきれいというだけではなく、設備等の予防保全も間違いなくできている。

すなわち、この工場なら、品質も安心でき、また、生産性も高くコスト競争力もあるということ現場が示しているということだ。生産性が高く良い品質のものを作り込めるか否かは、説明を受けなくても現場が語るといふことであり、どんな説明より、現場を見てもらうことが、一番説得力があるのだ。

工場を進化させ続ける。そういう意味で、いつでも現場を見ていただく、また、常に現場を進化させ続けることで、また、見せてもらいたいという現場にし続ける

ことが大切ということだ。すなわち、工場のファンになってもらえるようにすることが大切なのだ。

そうなる、次の新たな新製品を開発する時も、お客様から、これは是非あの工場で作ってもらいたいと真っ先にお客様から声がかかることになる。

危険物混載 丸一海運株式会社

MA MARINE CHEMICALS 丸一海運
C CHEMICAL CONVEYMENT 船中
C CONTAINER CONTAINER 船中
S SERVICE サービス

ご存知でしたか?
危険物に混載サービスがあったら?

化学品・危険物の物流について

取扱のアシストをいたします!

危険物取扱のプロフェッショナル集団!

丸一海運のタイ現地法人 **MKC(Thailand)Co.,Ltd.**

普通貨物も取り扱います。

- 丸一海運は危険物を含む化学品の物流に特化した会社で、日本発タイ向け、海上輸送による危険物混載サービス(MACCS)を行っており、運賃着払いも可能です。
- MKCはタイで危険物を含む化学品の輸出入の物流サービスを行っています。

MKC **MKC(Thailand)Co.,Ltd.**
Tel: 02-730-3299 Fax: 02-730-3224

Mail: satoru_matsuda@mkcthai.co.th (担当: 松田まで) ติดต่อ: คุณรชชี่

2533 Sukhumvit Road, Bangchack Phrakonong Bangkok 10260, Thailand

单身ビジネスマン向けのサービスアパートメント
都心にありながらも静かな環境。

心を添えてお迎え致します

ランドリーサービス・コインランドリー
メイドサービス(毎日のベッドメイク)
日本語のテレビ、インターネット
日本語スタッフ常勤

レストラン
(日本料理・タイ料理・洋食など豊富なメニュー)
朝食(和食、洋食)のビュッフェスタイル
夕食は日替わり定食をご用意しています。

1泊からの宿泊はもちろん、長期での契約、コーポレートでの契約など承ります。

イエロー・リボン・ヒルズ エグゼクティブ・マンション

YELLOW RIBBON HILLS Executive Mansion

Tel. 0-2287-0431 Fax. 0-2287-0375
E-mail: sales@yellowribbon.co.th
URL: www.yellowribbon.co.th

BTSチョンノンシー駅5番出口から徒歩5分
33/3 Soi Prapinij, Sathorn-Tai Rd., Bangkok 10120